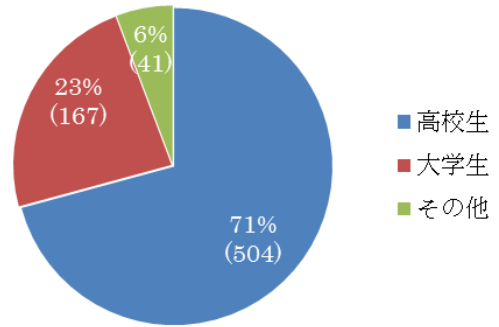


「安心して暮らせるまちづくり」に関するユース・アンケート調査結果詳細

【回答結果】

・回答数：712件



Q1. あなたの所属を教えてください。

高校生：71% 大学生・専門学校生：23% その他：6%

Q2. あなたの性別を教えてください。

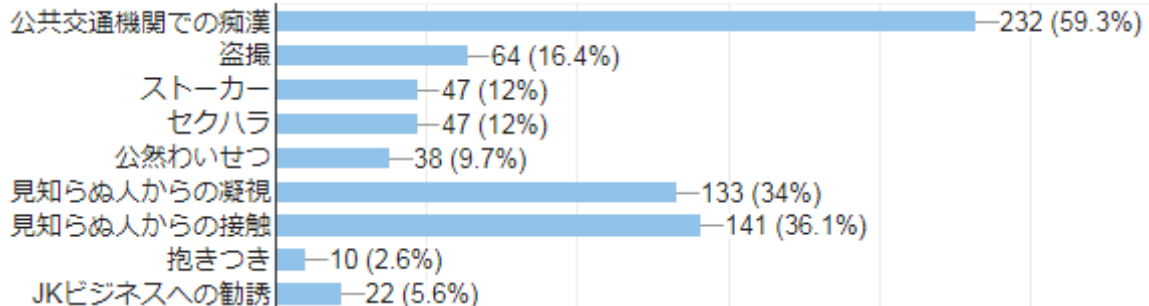
女性：88% 男性：12%

(女の子・女性からの回答)

Q3. 日常生活で下記のような危険性を感じたことはありますか？(複数回答可)

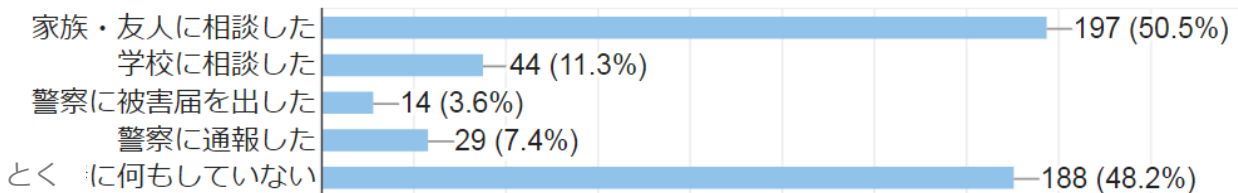
1位：痴漢 322件、2位：見知らぬ人からの接触 200件、3位：盗撮 163件

Q4. 実際に被害にあったことのあるものを教えてください。(複数回答可)



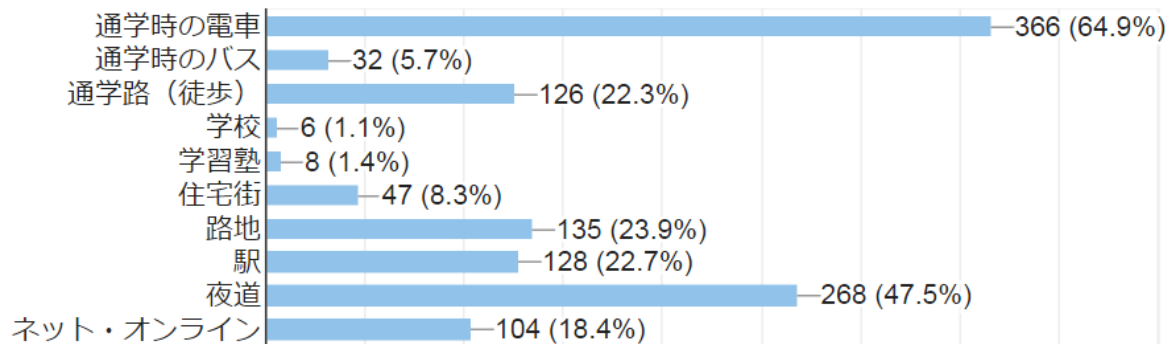
Q5. <実際に被害にあったことがある方>その際にはどういった対応をしましたか？

1位：「家族・友人に相談」、2位：「とくに何もしていない」、3位：「学校に相談」。<その他の回答>「にらみ返した」「近隣の店舗に助けを求めた」「その場から逃げた」「気づかないふりをした」「直接言った」など。



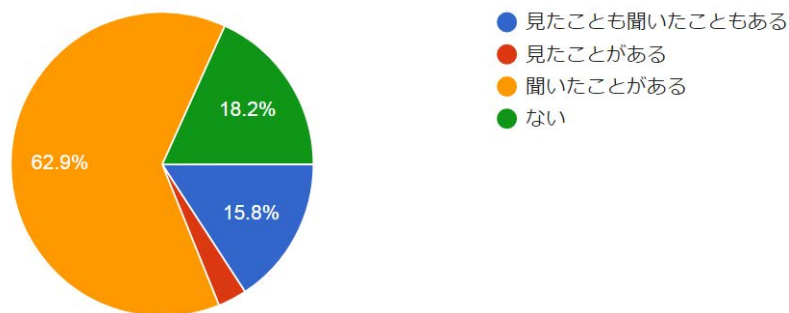
Q6. 日常生活の中でどの場所で安全性に不安や身の危険を感じたことがありますか？

1位：「通学時の電車」366件、2位：「夜道」268件、3位：「路地」135件。<その他の回答>「図書館」「歓楽街」「職場」「コンビニ」「マンション(家)」「夜の飲み会」など。



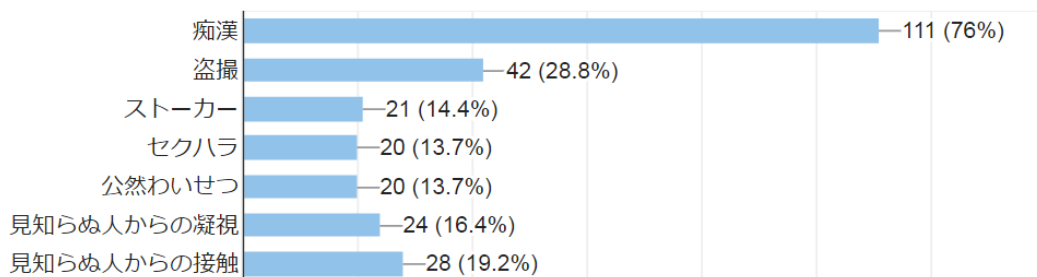
Q7. 痴漢などの性的な被害に実際にあった人を見たり聞いたりしたことはありますか？

ある：81.8%



Q8. 実際に目撃した被害はどのような被害かわかる範囲で教えて下さい。

1位：「痴漢」111件、2位：「盗撮」42件、3位：「見知らぬ人からの接触」28件でした。

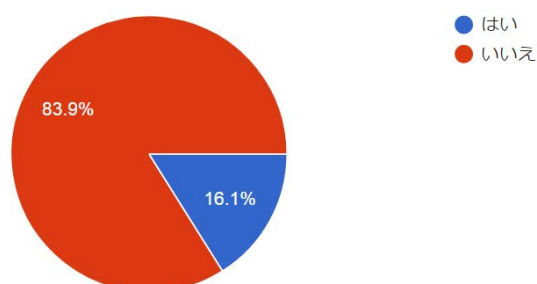


Q9. 実際に目撃した際にはどのように行動しましたか。

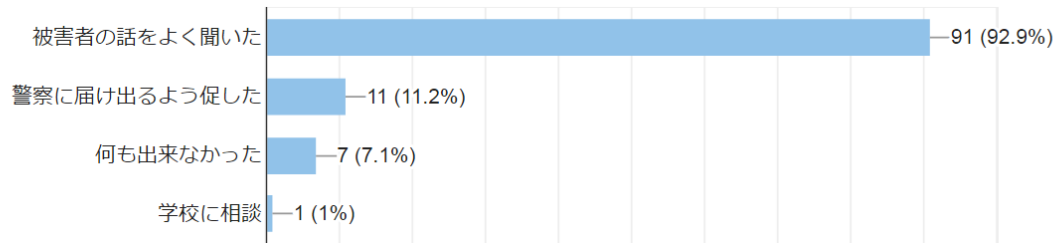
1位：「何もしなかった」68.3%、2位：「駅員や警察などに通報した」17.1%、3位：「加害者に声をかけるなど注意した」8.1%でした。＜そのほかの回答＞「加害者をにらんで私は見ているぞとアピールをした」、「にらみつけ、持っていた本で手を避けさせた」「友人に相談した」など。

Q10. 性的な被害にあった人から相談を受けたことはありますか？

ある：16.1%

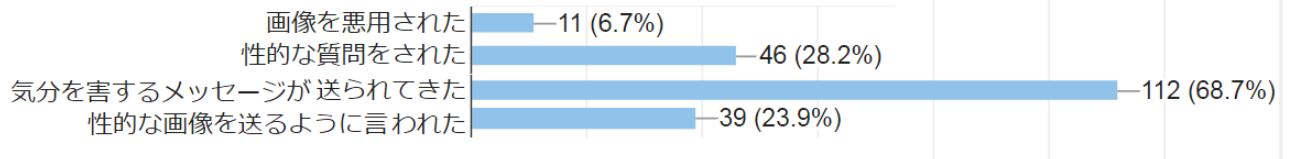


11. 相談された際どのように対応しましたか？

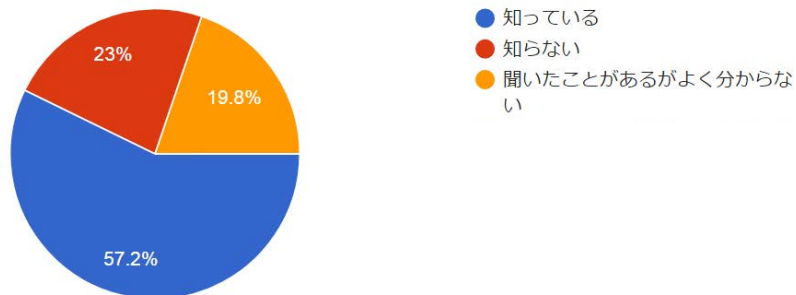


Q12. SNS 等での嫌がらせ(ソーシャルメディアハラスメント)にあったことはありますか？

ある : 22%



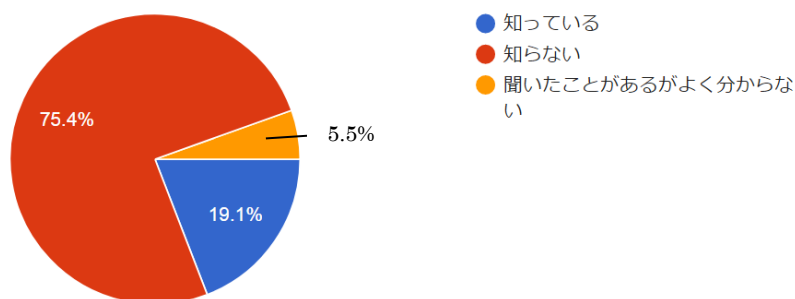
Q13. デートDVという言葉を知っていますか？



Q14. デートDVの被害にあったことはありますか？

ある、受けていたかもしれない: 合計 39 人 6%

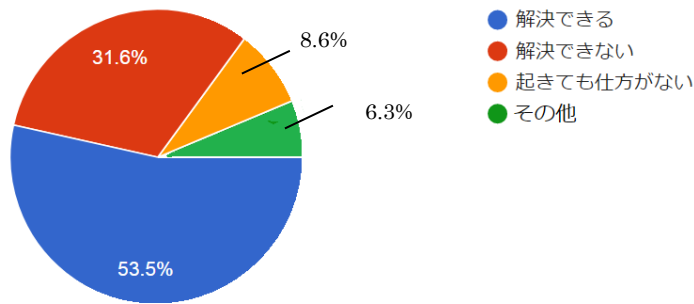
Q15. デートレイプドラッグという言葉を知っていますか？



Q16. こうした被害にあったことはありますか？

ある、もしくは被害を受けていたかもしれない : 6 人

Q17. こうした身近に潜む危険は解決できると思いますか？



Q18. 質問 17 について、どうしてそう思いましたか？理由を教えてください。

【解決できる】

(おもな回答)

- ・まだこうした事実があること自体が露呈してない部分があるから、認知度や女性の意識を高めていけば改善の余地はあると思うから。
- ・仕方がない、変えられない、のような思想は永遠に変化を促さない。そういうことが起きていることがおかしい、だから変えていこう、という考えを持たないと被害者を減らすことはできない。
- ・万が一被害にあったとしても、周りに頼れる人が沢山いるから。また、若い世代が正しい知識を身につけ、行動していくことで現状は変えられると思うから。

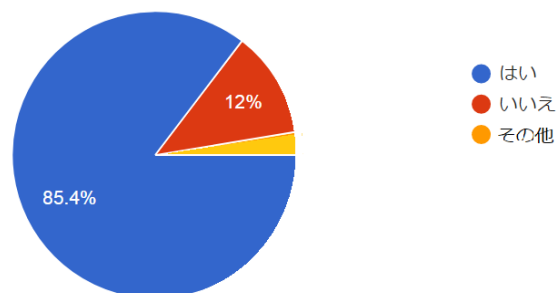
【解決できない、起きてても仕方がない】

(おもな回答)

- ・人間の本能だから。
- ・性犯罪者はほぼ再犯するのに日本の法律は緩いから。
- ・性教育・セクハラに関する効果的な教育がないから。

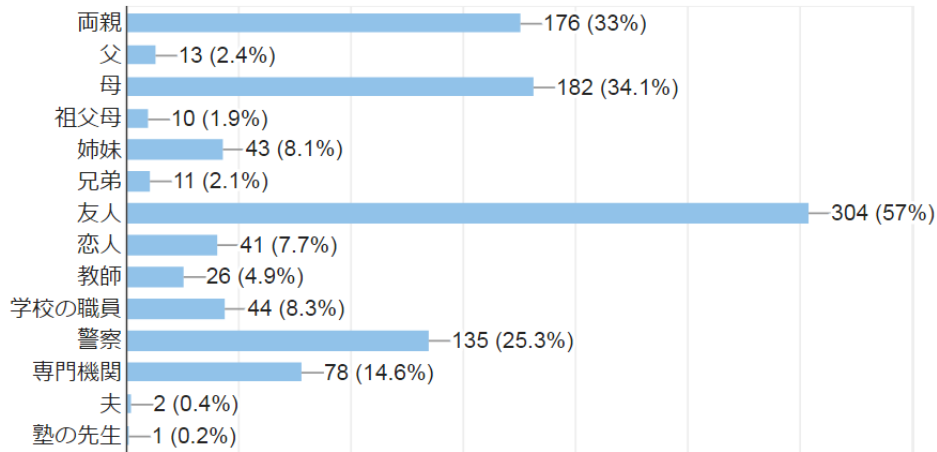
Q19. もし被害にあった場合、誰かに相談・報告しようと思いますか？

相談・報告しようと思う：85.4%



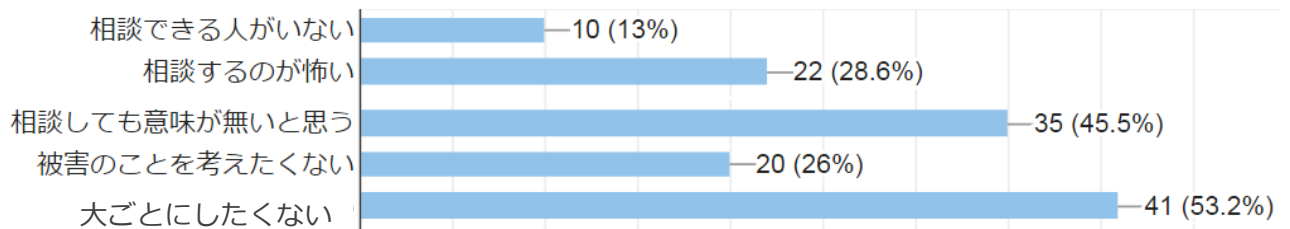
Q20. <「はい」と答えた方> 誰に相談しますか？

1位：友人、2位：母、3位：両親

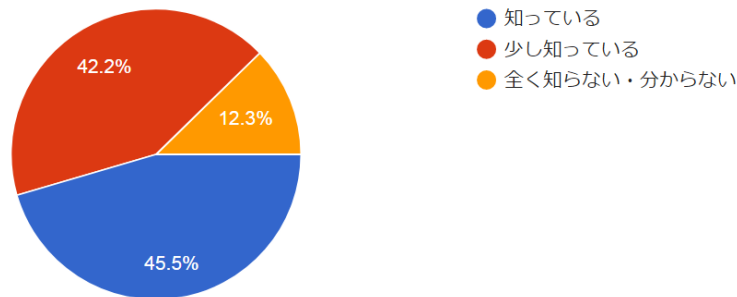


Q21. <「いいえ」と答えた方> 相談しない理由を教えてください。

1位：「大ごとにしたくない」、2位：「相談しても意味がないと思う」、3位：「相談するのが怖い」。<そのほかの回答>「誰に相談すればいいかわからない」「何度も自分が悪いといわれた。傷つく」「恥ずかしい」「特に気にしない」など。

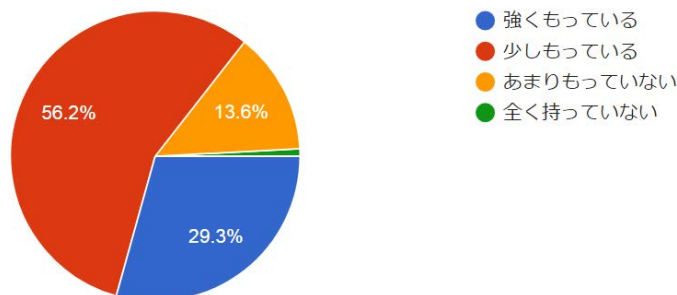


Q22. 盗撮、ストーカー、セクハラなどを取り締まる法律があることを知っていますか？



Q23. こうした被害に対する危機感や問題意識はもっていましたか？

「強くもっている」：29.3%、「少しもっている」：56.2%



Q24. 女性が被害を受けた場合、女性にも責任があると思いますか。またその理由も教えてください。

・女性に責任はない：60%、責任がある：32%、女性に自衛の必要性がある：10%

【女性に責任はない】

(おもな回答)

- ・ 思わない。危害を加えるほうが悪い。
- ・ 短い服を着ていたから女性にも非があるという人もいますが、そのせいで女性が好きな服を着られないのは不平等だと思うので、責任はないと思う。
- ・ どのような理由にせよ加害者は犯罪を犯していることに変わりはないから、被害者に対して責任を問うようなことがあってはならないと思う。

【女性に責任がある】

(おもな回答)

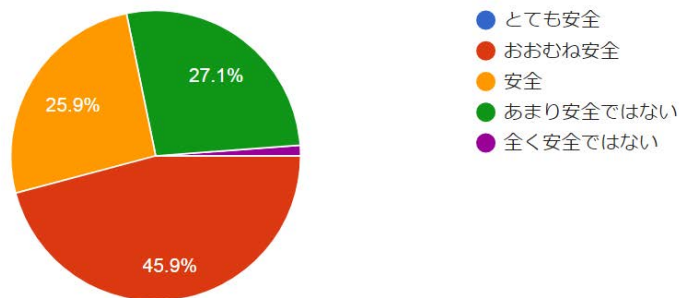
- ・ 慎重になっていなかったり、対策が足りなかったりする場合もあるので少しだけ責任はあると思う。
- ・ あまりにも露出が多かったり、誘うようなことをしてしまった場合は責任が少しあると思う。
- ・ SNSなどで安易に関わってしまった相手から被害を受けた場合などは女性自身の危機感が足りていなかったと言えると思う。

Q25. 思春期の女の子や若い女性のために、街をより安全にするためには何が必要だと思いますか。

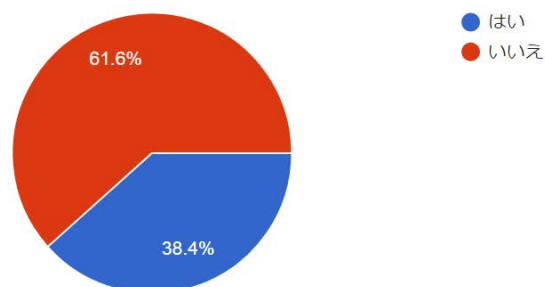
1位：安全に関する環境を整える 55人。おもな回答：「街灯や防犯カメラを増やす」「周りの大人や地域で助け合う」、2位：教育や啓発の必要性 43人。おもな回答：「学校教育の中でその被害と対策を教える」「声の上げやすい社会の雰囲気作り」、3位は「法律の厳罰化」の4人。

(男の子・男性からの回答)

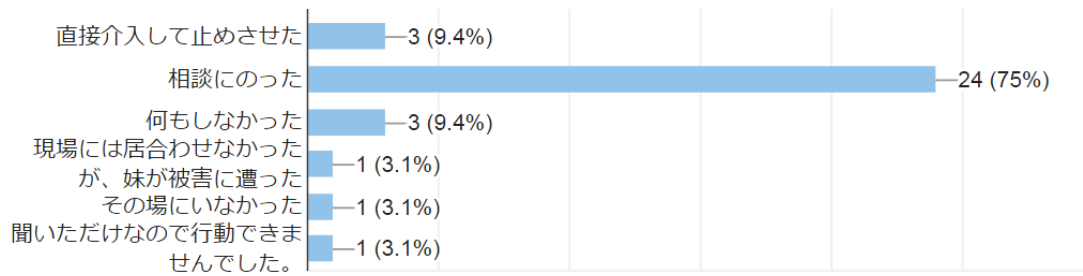
Q3. 公共の場や交通機関での女の子や若い女性の安全性をどう思いますか？



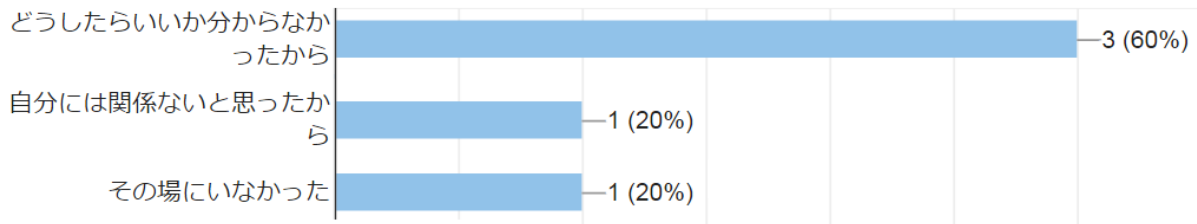
Q4. あなたの身の回りで女の子や若い女性が痴漢/盗撮/ストーカー/セクハラなどの性的に不愉快な思いをしているのを見聞きしたことはありますか？



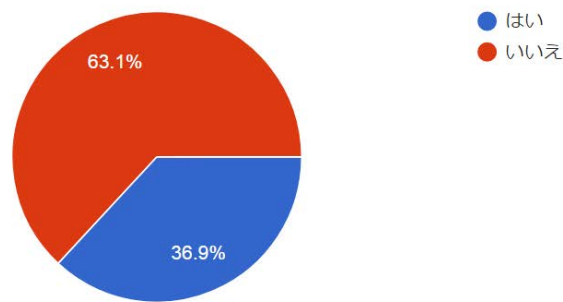
Q5. はいと答えた方はどんな対応をしましたか？



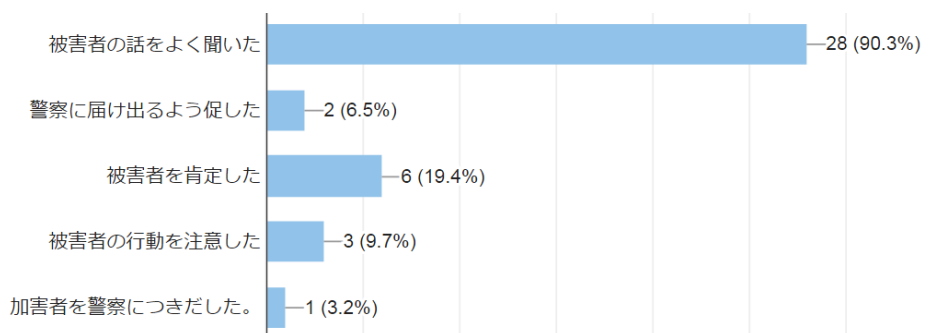
Q6. 何もしなかった方はその理由を教えてください。



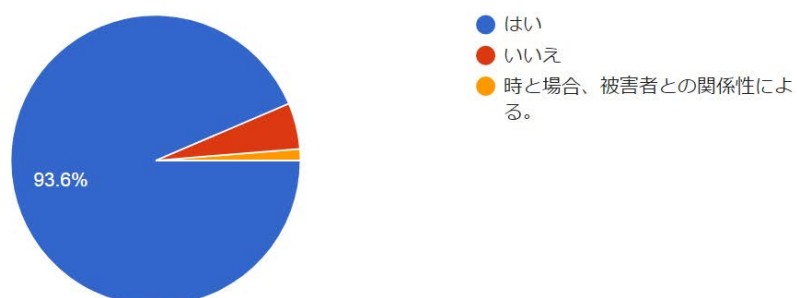
Q7. 女の子や若い女性が性的に不愉快な思いをしている時に相談を受けたことはありますか？



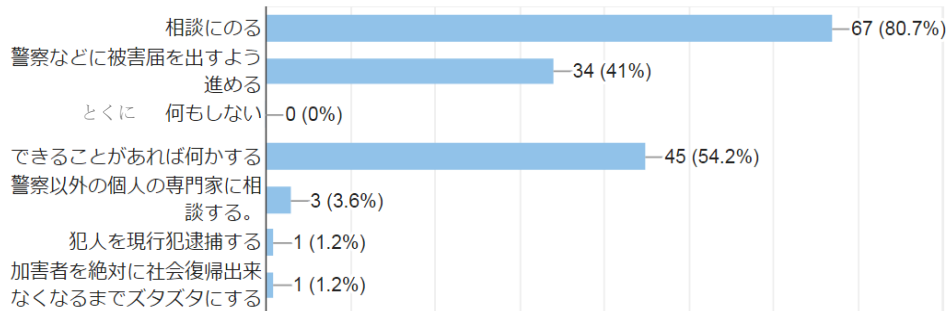
Q8. はいと答えた方はどのように対応しましたか？



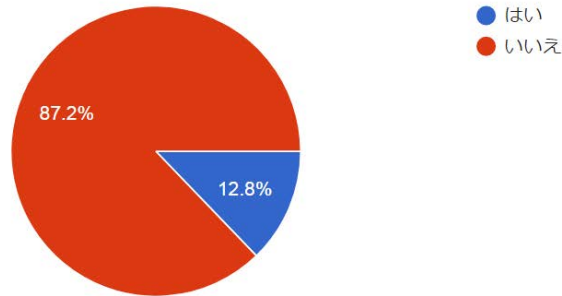
Q9. 相談を受けたり被害を目撃した場合、助けたり何か行動を起こしたいと思いますか？



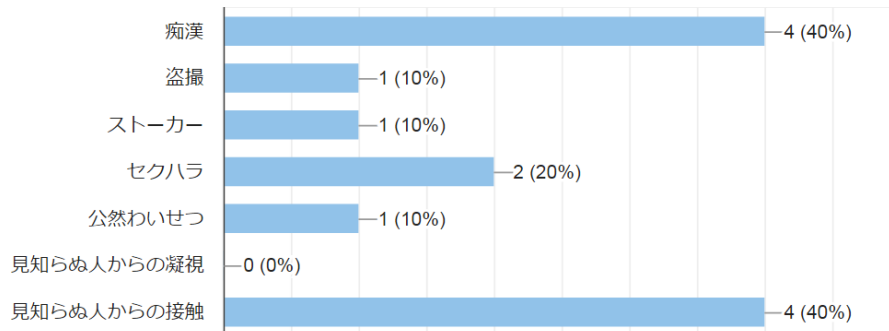
Q10. 自分の身近な人・大切な人がこのような被害にあった場合はどうしますか？



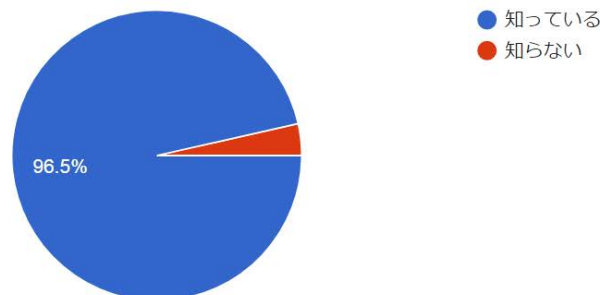
Q11. 自分が痴漢/盗撮/ストーカー/セクハラなどの被害で性的に不愉快な思いをしたことはありますか？



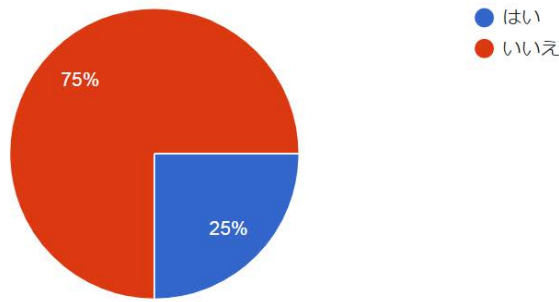
Q12. 被害にあったことのあるものにチェックをいれてください。



Q13. 性的な意味で、相手に不愉快な思いをさせる発言がセクシュアル・ハラスメントに値する可能性があることを知っていますか。



Q14. 女性が性的な被害を受けた場合、女性にも責任はあると思いますか？



Q15. 理由を教えてください。

【女性に責任はない】

(おもな回答)

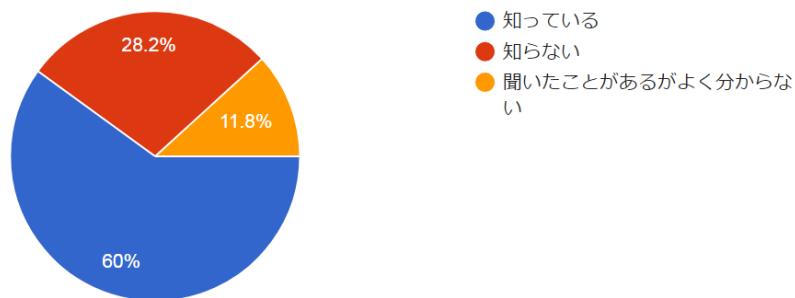
- ・加害側が一方向的に行動を起こしたから。
- ・女性にその気持ちがあったならばともかく、なかった場合は男性の自分勝手な欲求や妄想で女性に接しているのでこの場合女性には何の責任も無いと思う。
- ・被害者側に過失があっても、責任は加害者側にあるから。

【女性に責任がある】

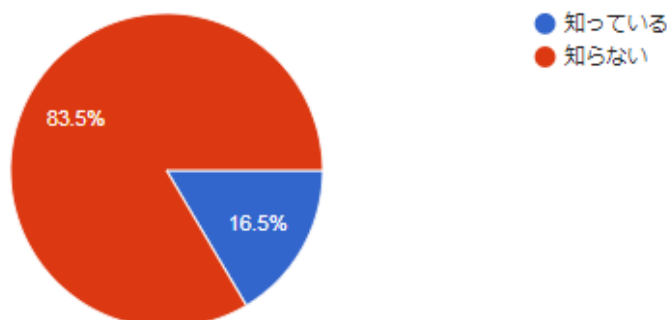
(おもな回答)

- ・あまりにも露出が多いなど加害者の行動を誘発すると思うため。
- ・服装、座り方、持ち物に、無神経。自己防衛意識の欠如。
- ・場合にもよるが、女性がもっと気をつけたりするべきときもあると思うから。

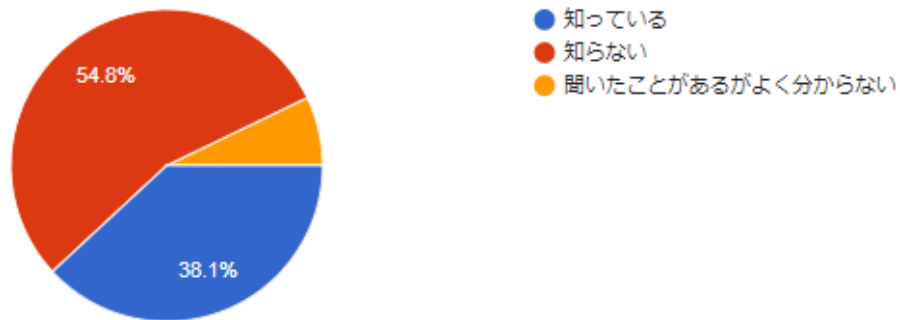
Q16. デートDVという言葉を知っていますか？



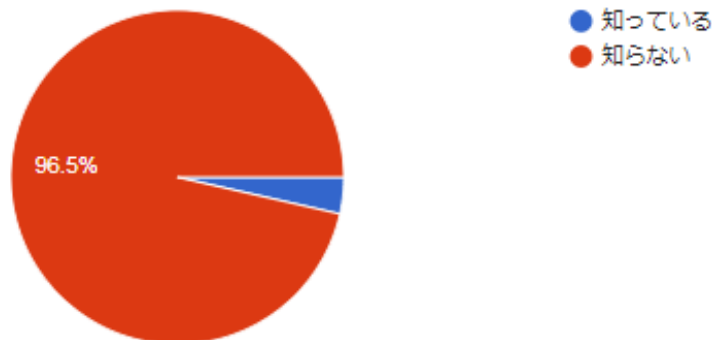
Q17. デートDVの被害にあった女の子や若い女性を知っていますか？



Q18. デートレイプドラッグという言葉を知っていますか？



Q19. デートレイプドラッグの被害にあった女の子や若い女性を知っていますか？



Q20. 思春期の女の子や若い女性のために、街をより安全にするためには何が必要だと思いますか。

1位：安全に関する環境を整える 36人。おもな回答：「街灯や防犯カメラを増やす」、「地域住民どうしの関わりや声掛け」、2位：教育や啓発の必要性 19人。おもな回答：「男性の意識改革」、「ジェンダー平等教育の促進」、3位「女性が自衛すること」5人。

Q21. 思春期の女の子や若い女性のために、街をより安全にするためにはあなたにどんなことができると思いますか？

(おもな回答)

- ・身近な友人の相談に乗る。第三者介入※を実践する準備をしておく。
- ・被害を目撃した場合は何かアクションを起こす。このような問題は実際に起きているということを自覚し、ほかの男性にも認知させる。
- ・性的被害についての正しい知識や対処法を知る。

※第三者介入とは・・・被害にあった人を見かけたとき、まわりの人が介入することで、被害を未然に防ぐ、もしくは事態を悪化させないこと

調査結果は以上です。